

- 国内外の観光需要は急速に回復し多くの観光地が賑わいを取り戻しているが、都市部を中心とした一部地域への偏在傾向も見られ、観光客が集中する一部の地域や時間帯等によっては、過度の混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念も生じている状況であり、適切な対応が必要。
- 地方部への誘客をより一層強力に推進し、全国津々浦々あまねく観光客を呼び込んで行く。
- 観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立しつつ、持続可能な観光地域づくりを実現するためには、地域自身があるべき姿を描いて、地域の実情に応じた具体策を講じることが有効であり、国としてこうした取組に対し総合的な支援を行う。

## 1. 観光客の集中による過度の混雑やマナー違反への対応

### 1-1. 受入環境の整備・増強

観光客が集中する地域における交通手段や観光インフラの充実

<乗降時や車内等の混雑緩和>

- ・観光客が集中する路線バスから鉄道への分散・乗り換えを促進・支援（京都等）
- ・「手ぶら観光」の実証導入（京都で今秋実施）、各地で導入を支援
- ・チケット購入や運賃支払いのキャッシュレス・多言語化を支援（全国10地域→20地域以上）
- ・MaaSや配車アプリ等の導入・サービス拡充に対する支援（関西エリア等）
- ・空港業務人材の確保やスマートレーン導入等による生産性向上への支援（成田・羽田・関西・中部等）

<輸送力の増強>

- ・長編成LRT車両・連節バス導入等の車両長大化（広島等）や、鉄道駅改良への支援（大阪・弁天町駅等）
- ・供給力の徹底的な回復、観光客向けの乗合タクシー導入、混雑乗り場におけるタクシーポーターの配置（東京駅・京都駅）等、「タクシー不足に対応する緊急措置」実施

<観光客が集中する地域の受入環境の充実>

- ・歩行空間の拡大や交通結節点の整備等によるまちづくりへの支援（大阪・御堂筋周辺等）
- ・道路・歩道整備、観光地での無電柱化加速化（低コスト工法・民間委託）やカーシェア発着場所増
- ・国立公園を中心に入域料を導入し受入環境整備に活用（中部山岳国立公園（松本市ほか）等）
- ・ICTを活用した「スマートごみ箱」の導入支援（大阪・道頓堀ほか各地）
- ・宿泊業の採用活動支援、機械化・DX化推進支援、外国人材の活用促進
- ・本年度中を目処に、Visit Japan Web等を活用した訪日客への民間医療保険加入促進を強化

### 1-2. 需要の適切な管理

実情に応じた入域管理や異なる需要に対応した運賃設定の促進等

<入域や交通の管理・規制>

- ・エコツーリズム推進法や自然公園法に基づく入域規制やガイド同伴の義務化（沖縄・西表島等）
- ・富士山での適正な登山、軽装登山、ごみ投棄等について、今秋から協議を開始
- ・観光施設・駐車場予約システムやパーク＆ライド駐車場整備等への支援（北海道美瑛町ほか各地）
- ・地域における協議を踏まえた交通規制の実施（青森・奥入瀬エリアで実証）や好事例等の共有

<異なる需要に対応した運賃・料金の柔軟な設定（規制緩和等）>

- ・観光スポットへの急行バス導入促進（京都駅〜清水寺方面等）と届出による運賃設定への規制緩和
- ・混雑運賃設定が可能となるよう、今秋中に制度の弾力的運用を行い、導入を促進

### 1-3. 需要の分散・平準化

空いている時間帯・時期・場所への誘導・分散化

- ・観光スポットや周辺エリアの混雑状況の可視化・リアルタイム配信の導入支援（美瑛町・鎌倉市等）
- ・混雑状況を考慮した空いている観光ルート等の提案による誘導（今年度、箱根・秩父エリアで実証等）
- ・文化財や美術館・博物館等を早朝・夜間に体験する特別プログラムの実施（東京国立博物館等）
- ・休日と平日のバランスの見直し等、観光需要の分散・平準化のための高速道路料金割引の見直し（全国）

### 1-4. マナー違反行為の防止・抑制

旅マエから意識啓発を推進し、旅ナ力の取組・対策も強化

<旅マエ・旅ナカにおける啓発>

- ・今年度中を目処に統一ピクトグラムを策定、世界的な旅行ガイド本への掲載等を通じ周知
- ・今年度中を目処に、意識の持ち方や行動例を示す「旅行者向け指針」を策定
- ・看板・デジタルサイネージ等の設置支援、多言語での情報提供（京都市・美瑛町等）

<マナー違反の抑止>

- ・私有地や文化財等への防犯カメラ等の設置支援
- ・観光客のごみ削減につながる行動変容の促進等に係るモデル事業を今年度より開始
- ・今年中を目処に、条例に基づく罰則等の整備に係る事例集を作成、地域向けに共有

## 2. 地方部への誘客の推進

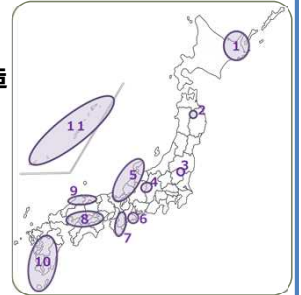
地方部の観光地の魅力向上や受入環境整備を通じて、都市部を中心とした一部地域への集中を是正、地方誘客を拡大

<地方部の観光地の魅力向上>

### ・11モデル地域における高付加価値なインバウンド観光地づくりの実現

地域のコアバリューを磨き上げ、それを体感できるコンテンツや宿泊施設の充実等により滞在価値を向上させる、高付加価値な観光地づくりを促進

- ①東北海道：知床等手つかずの大自然や希少動物とのふれあいを実現するアドベンチャーツアー造成等を支援
- ④松本・高山：中部山岳国立公園でのトレイルツアー造成や松本・高山の歴史文化を活かした宿改修を支援
- ⑥伊勢志摩：伊勢神宮を核とする参拝文化と国立公園を活かした特別な食の提供や高付加価値な宿改修等を支援
- ⑧せとうち：島嶼部の自然景観美、海と切り離せない歴史や暮らしを活かしたクルーズ観光の強化やアートとの融合等を支援
- ⑨鳥取・島根：古代出雲の精神性、大山等の山岳信仰を活かした特別な体験造成や文化財を活用した宿改修等を支援
- ⑩沖縄・奄美：やんばるや奄美等の自然や歴史を活かした古武道体験など特別な体験造成や古集落の一棟貸し等宿改修を支援



### ・全国各地で特別な体験や期間限定の取組等を自然、文化、食、スポーツ等の様々な分野で創出し、全世界に発信

- 高山エリア：飛騨の里合掌造りを特別に貸切した食文化や郷土芸能などの高付加価値なコンテンツを支援
  - 瀬戸内エリア：瀬戸内国際芸術祭の開催期間中しか鑑賞することができないアート作品の夜間を含む特別貸切鑑賞を支援
- など、様々な取組を支援



### ・中部山岳国立公園、やんばる国立公園など4国立公園における魅力向上とブランド化

- 宿泊施設の誘致や自然体験アクティビティの提供など、面的な魅力向上を実施するため、今年度、基本構想案を検討。

<受入環境整備>

- ・空港業務人材の確保や施設整備等への支援（熊本ほか地方空港）
- ・クルーズ船の地方寄港や新たな地方周遊航路造成等の促進（広島港等）
- ・マイナンバーカードを活用し、観光客へのデジタルポイント付与等により広域周遊を促す取組の実施（今年度、静岡県等で実証）

## 3. 地域住民と協働した観光振興

- ・地域の実情に応じた上記の対策を促進すべく、住民を含めた地域の関係者による協議に基づく計画策定・取組実施への包括的な支援を全国約20地域で実施し先駆モデルを創出。他地域にも横展開。
- ・各地域における課題解決に係る相談窓口を観光庁に直ちに設置。各省庁が連携し支援する体制を整備。

自治体・DMOや事業者が地域住民に積極的に働きかける取組を促進

- ・観光の意義や効果に係る地域住民等向け説明資料の作成、活用の促進
- ・今年度中を目処に、地域における計画策定や具体的な取組実施の参考となる事例や留意事項をまとめた地域向け指針を策定。